

マウス操作

パソコンのマウス操作には、クリック、ダブルクリックなどがあるけど、

意外に慣れないと難しく、その上、色々な操作の出来るのがドラッグ&ドロップ。

ドラッグ&ドロップは誰もが活用するマウス操作ですが、その事例を紹介します。

ドラッグは和訳すれば引きずる、ドロップは落とす、という意味になります。

ドラッグとは、マウスの左側のボタンを押したままマウスを移動させることです。

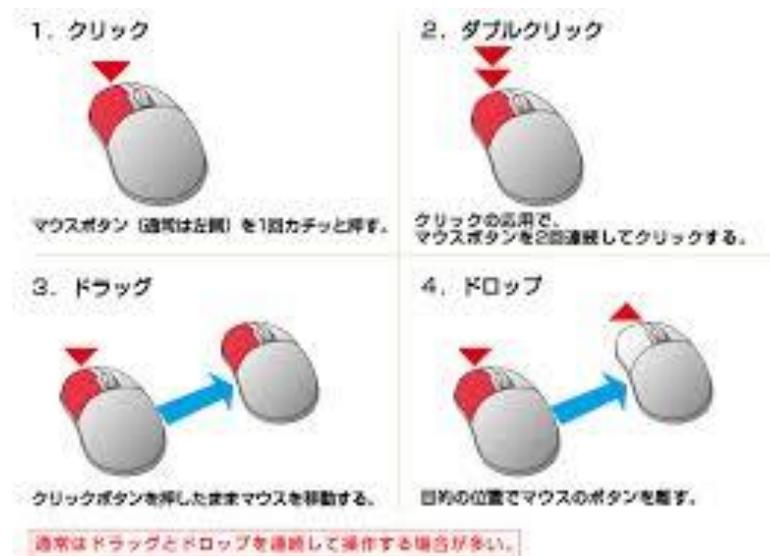
これをアイコンやファイル上で行い掴んで好きな場所に移動させ、

そして目的の場所に着いたら押さえていた左側のボタンを離します。

すると掴んでいたアイコンなどがそこに落ちます。これがドロップです。

ドラッグ&ドロップとは、掴んだものを引きずって行き、目的の場所で落とすということです。

UFOキャッチャーだと思えば問題ないです。ドラッグ&ドロップはパソコン操作の基本中の基本なので、どんどん使って慣れましょう。



では、ドラッグ&ドロップ操作でどんな事が可能なのか？事例を挙げて色々なシーンを見ていきましょう。

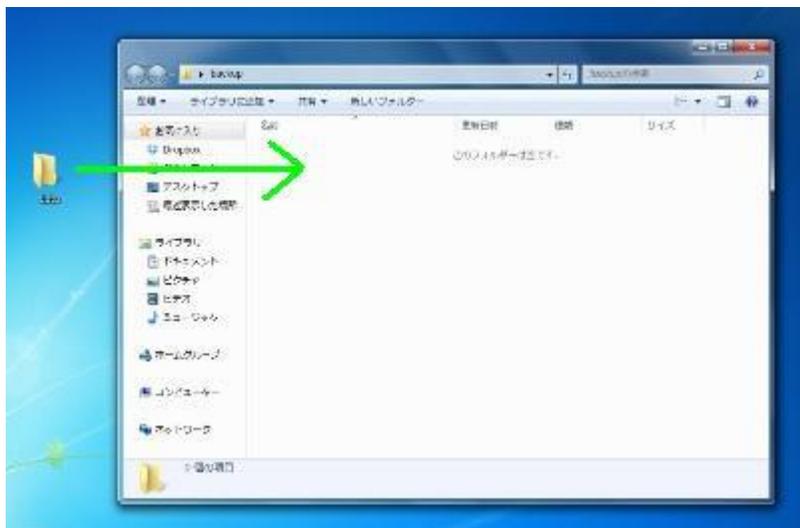
●ドラッグによるアイコンの移動

ドラッグ(マウスの左側ボタンを押したまま)移動させます。



ドロップ⇒マウスの左側ボタンを離します。

●ドラッグによるフォルダ移動。



●ドラッグによるタスクバーの設定。



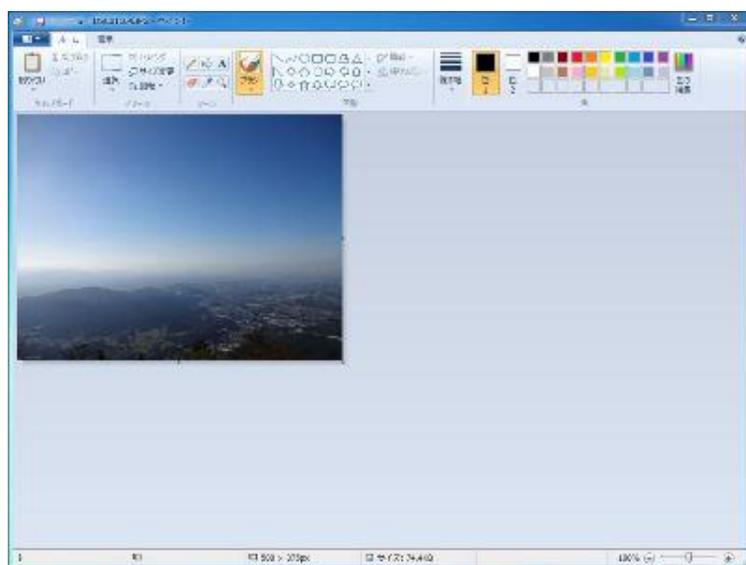
スタートメニュー⇒良く使うプログラムをタスクバーに常設⇒タスクバーに登録されます。



●ドラッグによる、特定ファイルからプログラムの自動起動。



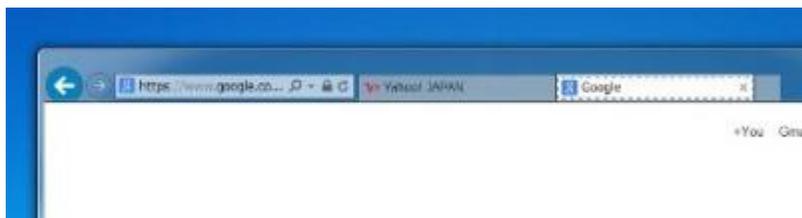
写真をペイントソフトで開きたい時⇒ドラッグしてペイントのショートカットまで運びます。



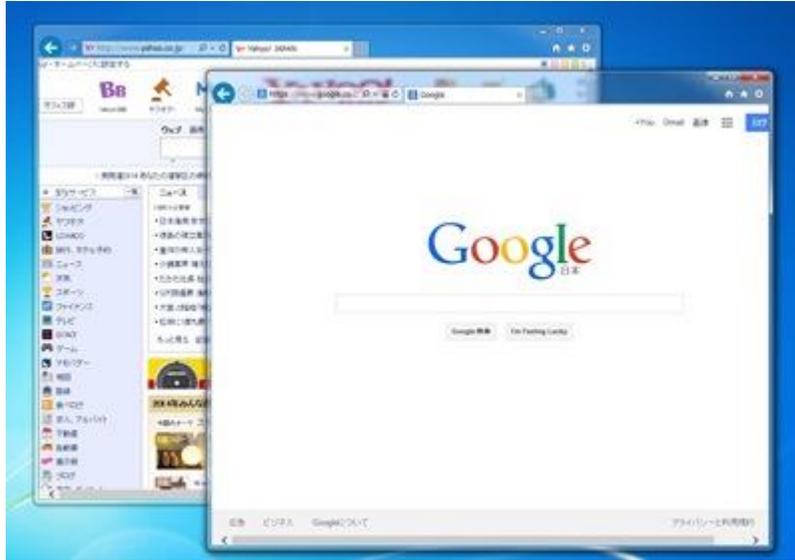
離すと 写真がペイントで開きます。(特定のプログラムで開きたい時に使えます)

●ドラッグによる、ブラウザのシート操作。

例えば、ブラウザに2つタブが開いているとします。



開いているブラウザのタブをドラッグします。



離すと2つのウィンドウに切り替わります。

このようにドラッグ&ドロップは パソコンを使う上では最も基本的な操作なのです。

何度も、何度も、操作してスムーズに行えるよう練習してください。